

【経営学部】令和7年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

特になし。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

①カリキュラムマップ

カリキュラムマップにおける「専門知識・専門技能」の検証と洗い出しを行った。

②シラバス

シラバスの検証を行った。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

カリキュラムツリー、ナンバリング等の検証を行った

課題

学部教学マネジメント会議を中心に検証を行い、学部公開授業とFDワークショップを介して学部教員間で包括的な理解を図った。さらなる包括的理解に向け、引き続き改善していくこと。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

経営学部教学マネジメント会議を中心に引き続き学修成果・教育課程の実情把握、ならびに可視化に関して計画、実行、検証、実行のプロセスに基づいて議論を行う。

課題

上記の実情把握・可視化が十分に組み立てていたかどうか、学部教育マネジメント会議にてさらに検証したい。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

学生の資質・能力の習得状況が適切に測定できているか、アセスメント科目を介して検証していく必要がある。

課題

アセスメント科目を中心に、上記の課題について取り組んでいく。

アセスメントプランの取り組み

①結果

アセスメント科目を中心に学修成果、教育効果を検証し、3つのポリシーとの整合性を図った。

②課題

特になし。

5. 学部における教学マネジメントの組織体制を踏まえた教員組織の編制方針の見直しの状況

評価（該当する番号にチェック）

- ☐ ①学部における教学マネジメントの検証体制を踏まえて実施できた。
- ☐ ②学部における教学マネジメントの検証体制を一部踏まえて実施できた。
- ☐ ③学部における教学マネジメントの検証体制を踏まえた実施ができなかった。

→②もしくは③を選択した場合はその理由を自由記述欄に記入

自由記述欄

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。